



○ 耐火物手帳の活用の仕方その5（編集後記） ○

耐火物手帳には、ユーザーとサプライヤーの間をつなぐ役割があると考えています。耐火物業界では、主に「耐火物原料メーカー」「耐火物メーカー」「耐火物ユーザー」の三つの立場に分けられます。それぞれの技術者の方々は、自身の立場においてはスペシャリストですが、異なる立場の技術や背景まで理解するのは容易ではなく、使用される専門用語も曖昧なままになりがちです。

そのような場面で、耐火物手帳は異なる立場の技術的背景を理解する助けとなります。たとえば、原料メーカーの技術者が「なぜ耐火物メーカーはこの成分を選んだのか？」と疑問に思ったり、耐火物メーカーが「なぜユーザーはこの製品を選定したのか？」と考えたりすることがあるでしょう。特に業界に入って間もない技術者の方々にとっては、こうした疑問は少なくないはずです。

耐火物手帳を活用することで、ある原料がどのように加工され、どのような耐火物となり、どのような場所にどのように使用されるかを体系的に理解することができます。これにより、ユーザーの考え方やニーズを知るきっかけにもなります。

耐火物手帳は章ごとに立場別の技術を整理しています。第二章では耐火物の種類と特性、第三章では耐火物原料、第四章では製造方法と製造・施工設備、第五章では工業炉と耐火物について解説されています。ぜひ、自身の立場にとどまらず、他の立場の技術にも触れていただき、新たなサプライチェーンの構築に役立てていただければと思います。

耐火物手帳目次

<https://www.tarj.org/wysiwyg/file/download/35/5770>

（吉田 道之，西田 直人）